



動物レスキュー通信

2021年7月 第98号 (令和3年7月1日発行)

発行元

一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
ペット災害危機管理士 三級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

夏に多い事故

熱中症と脱走・迷子



梅雨が明けると本格的に気温が高くなり、人も動物も熱中症に気を付けなくてはなりません。熱中症は夏だけではなく、最高気温が25度を超える夏日が増えてくる4月頃から発生し始め、7月、8月、9月に多く発生し、10月頃まで続きます。ワンちゃんと飼い主さんは毎日の日課として散歩があると思いますが、熱中症が多く発生するこの時期には、お散歩に出かける時間がとても重要です。都会に住んでいると、道路はほとんどの場所がアスファルトに覆われています。その事も関連して都市部は郊外に比べ気温が高くなる「ヒートアイランド現象」による影響を大きく受けています。もちろん地球温暖化の影響もありますが、東京では過去100年間の間に約3度気温が上昇しています。原因としては先ほどのアスファルトだけではなく、畑や田んぼなどの緑地が減少し、河川なども埋め立てられた事。自動車の排気やエアコンの室外機から排出される熱。ビルなどの建物がたくさんあり、風の通り道が遮られてしまうなどの原因があります。その為、日中にたくさん熱を帯びたアスファルトは夜になっても冷め切らず、寝苦しい熱帯夜の日数は過去40年間で2倍に増えています。その熱いアスファルトの上を飼い主さんとワンちゃんが一緒に散歩することを想像してみてください。飼い主さんの顔の位置とワンちゃんの顔の位置はどう考えてもワンちゃんの方がアスファルトに近い位置です。そうすると飼い主さんより

もワンちゃんの方がよりアスファルトからの熱を受けやすい事になります。だからこそ、この時期は夜々早朝の少しでもアスファルトが冷えている時間で散歩をするようにしてください。土の場所なら、なお理想的です。炎天下での散歩は絶対に避けてください。熱中症だけではなく、肉球がやけどをしてしまう可能性もあるからです。また、散歩の時だけではなく、自宅にいる時にも熱中症のリスクがあります。夏になると高齢者がエアコンを使用せずに自宅で気付かないうちに熱中症になり、命を落とすケースがありますが、ワンちゃん、ネコちゃんも同じように注意しなくてはなりません。人間の体温は36度前後ですが、ワンちゃん、ネコちゃんの体温は38度、39度前後。ましてや体全体にたくさん毛が生えていますので、飼い主さんにとっては適温と感ずる室温でも、ワンちゃん、ネコちゃんにとっては暑すぎるという事もあります。エアコンで調整するだけではなく、ペット用のクールマットを置くなどの対策をしてあげましょう。そしていつでも水分補給ができるように、飲み水を設置してください。そして室温だけではなく湿度も熱中症には関係しますので、必要に応じて除湿器を使用してください。

脱走・迷子にも注意

夏場の事故として気を付けなくてはならないことは熱中症だけではなくあります。

夏は窓を開ける事や、網戸にしている気概も多いと思います。鍵を閉め忘れた窓からや、網戸を突き破って脱走してしまうなど、ワンちゃんだけではなくネコちゃんにも多い事故。網戸↓突き破り↓脱走↓迷子は実際に私も経験があります。私の場合は2匹が脱走してしまい、10匹は翌日無事にマンションの別の階で確保できたものの、もう1匹は2か月近くも帰ってくる事ができず、仲間が総動員で捜索してくれて、やっと近所の空き家の庭で見出し、確保することが出来たという事がありました。見つかるまでの間、貼り紙や近所への聞き込み、保健所への連絡と確認など、かなり大変な思いをした覚えがあります。なによりも「交通事故にあつていないか?」「きちんとご飯は食べているか?」「病気やけがはしていないか?」「縄張り争いに負けて、遠くに行ってしまったのではないか?」「オスだったため」「どこかの誰かが拾ってしまった、他人の家族になってしまっていないか?」など、心配事が絶えなくて、全く仕事に付かない日々を過ごしていました。私のように大変な思いをしなかったためにも、脱走防止用のフェンスや網戸ストッパーなど、迷子にさせてしまわない工夫をしてあげてください。また、コロナ禍で花火大会等が中止が多いでしょうが、雷がたくさん鳴る時期ですので、その音に驚いてワンちゃんがパニックになり、逃げだして迷子になってしまわないように、日ごろから「ハウス」のトレーニングをし、雷の時などでも落ち着いていられるような場所を作つてあげましょう。

事故は起こってしまう前に防ぐ事が大切。少しの知識を付けるだけでも予防ができるという事を知り、愛犬、愛猫との幸せな時間を長く過ごして下さい。(詩月)